

『ServerView with Data ONTAP-v™ V1.02

ストレージコントロールブレードのセットアップと開始』補足事項

本製品に添付されておりますマニュアル『ServerView with Data ONTAP-v™ V1.02 ストレージコントロールブレードのセットアップと開始』の内容に追加および訂正事項がございました。ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、本マニュアルをご覧になる際に下記に示します内容を合わせてお読みくださるようお願いいたします。

2012年7月

富士通株式会社

『ServerView with Data ONTAP-v™ V1.02 ストレージコントロールブレードのセットアップと開始』への訂正事項

追記 本書でサポートされる DVD 版数について

下記注意事項が追記内容です。

本書は、DVD 媒体 ServerView with Data ONTAP-v™ Software の Version 01.03 をお持ちのお客様にも対応しています。

訂正 PRIMERGY BX900 のサポートについて

(関連ページ: **P.9、14、17、20、25、33~35、41、43、45~47、49、50、56、79、83、87**)

太字下線部が訂正箇所です。

(誤) BX400 S1/**BX900 S1**

(正) BX400 S1

PRIMERGY BX900 では、本製品は未サポートです。

追記・訂正 「1 はじめに」 (関連ページ: **P. 9**)

下記注意事項が追記内容です。

■ VSX960 について

VSX960 という名称はサーバブレードとストレージブレードを組み合わせたソリューションの総称を示しています。

太字下線部が訂正箇所です。

(誤) 図 1: **ServerView with Data ONTAP-v™ と VSX960 ハードウェア**のアーキテクチャ

(正) 図 1: **PRIMERGY VSX960 内蔵ストレージソリューション**のアーキテクチャ

追記・訂正 「1.1 このマニュアルの対象ユーザと目的」(関連ページ:P. 10)

太字下線部が訂正箇所です。

(誤) Documentation/NetApp/Ontap801/801docs.zip

(正) Documentation/NetApp/Ontap802/en/802docs.zip

訂正 「2.2 ハードウェア、ソフトウェア、その他の要件」(関連ページ:P. 14)

太字下線部が訂正箇所です。

(誤) LSI RAID 5/6 コントローラー上のデータディスクアレイには、同一容量のディスクが 4-5 台以上必要です。

(正) LSI RAID 5/6 コントローラー上のデータディスクアレイには、同一容量のディスクが 5 台以上必要です。

訂正 「2.3 納品物およびその他の購入オプション」(関連ページ:P. 15)

太字下線部が訂正箇所です。

(誤) 1年間サービスメンテナンス契約(フォローアップ契約を推奨)。日本市場におけるサポート契約に関する情報は、シス構を参照してください。

(正) 以下の品名(型名)の PRIMERGY BX920 S2 をご購入のお客様は1年間のソフトサポートがバンドルされています。
日本市場におけるサポート契約は、日本国内専用を提供しております。詳細は、担当営業にお問い合わせください。

- 品名: ServerView with Data ONTAP-v™ Software 管理用 VMware vSphere 4 Standard 1CPU ライセンス付
バンドルタイプ (型名: PGX9224AX)
- 品名: ServerView with Data ONTAP-v™ Software 管理用 VMware vSphere 5 Standard 1CPU ライセンス付
バンドルタイプ (型名: PGX9224AX2)

以下が訂正箇所です。

(誤) VMware ESX Server ソフトウェア DVD、VMware ESX Server ライセンス、必要なハードウェア(上記の項を参照)は納品物に含まれていないため、別途購入する必要があります。

最低でも Essential または Standard VMware ESX Server ライセンスが必要です。

(正) VMware ESX インストールメディア、VMware vSphere ライセンス、必要なハードウェア(上記の項を参照)は本製品の納品物に含まれていないため、ストレージコントロールブレードとして、以下の品名(型名)の PRIMERGY BX920 S2 ハードウェアを購入する必要があります。

以下の品名(型名)に添付されております「お客様登録とライセンスのご案内」を参照し、Mware vSphere 4.1 のライセンスキーを取得してください。その後、VMware 社のサイトよりソフトウェアを入手してご使用ください。

VMware vSphere Standard ライセンスが必要です。

- 品名: ServerView with Data ONTAP-v™ Software 管理用 VMware vSphere 4 Standard 1CPU ライセンス付
バンドルタイプ (型名: PGX9224AX)
- 品名: ServerView with Data ONTAP-v™ Software 管理用 VMware vSphere 5 Standard 1CPU ライセンス付
バンドルタイプ (型名: PGX9224AX2)※

※ 本品名(型名)は VMware vSphere 4.1 ヘダウングレードする必要がある場合がございます。本書「3.1.2.1 必要なもの」に記載の補足事項を合わせてご参照ください。

追記 「3.1.1.3 コネクションブレード(CB)の設定」 (関連ページ: P.17)

下記注意事項が追記内容です。

■ コネクションブレード(CB)使用時の注意事項

- IBP モードは未サポートです。
- ジャンボフレームは未サポートです。
- Connection Blade 10GbE Switch 18/8 は未サポートです。(2011 年 12 月以降サポート予定)

訂正 「3.1.1.4 SCB の DVD アクセス」 (関連ページ: P. 20)

太字下線部分が訂正箇所です。

- (誤) 「電源管理(Power Management)」 エントリを選択して「起動オプション(Boot Options)」ボックスの「起動デバイス(Boot Device Selector)」を「**USB**」に変更します (このブートデバイスを次回のシステム起動時にのみアクティブにします)。
- (正) 「電源制御(Power Management)」の**Power On/Off** エントリを選択して「起動オプション(Boot Options)」ボックスの「起動デバイス選択(Boot Device Selector)」を「**CD/DVD-ROM**」に変更します (このブートデバイスを次回のシステム起動時にのみアクティブにします)。

太字下線部分が訂正箇所です。

- (誤) 「コンソールリダイレクション(Console Redirection)」 – 「BIOS テキスト (BIOS Text Console)」の順に選択してサーバブレードを起動し(ウォームモードまたはコールドモード)、POSTの実行中にF2キーを押してサーバブレードのBIOSを起動し、「Boot」メニューを呼び出して「First Boot Device」を「USB」に設定します (このブートデバイスが常に有効となるよう設定します)。
- (正) 「コンソールリダイレクション(Console Redirection)」 – 「BIOS テキスト (BIOS Text Console)」 – 「**コンソールリダイレクションの開始 (Start Text Console Redirection)**」の順に選択してコンソール画面を起動します。「Logon」をクリックし、ログオンを行います。「Enter Console」をクリックします。「Command」より、「Power On」を選択し、サーバブレードを起動します(ウォームモードまたはコールドモード)。POSTの実行中にF2キーを押してサーバブレードのBIOSを起動し、「Boot」メニューを呼び出して「**1st Boot Device**」を「USB」に設定します (このブートデバイスが常に有効となるよう設定します)。

追記 「3.1.1.5 SCB BIOS の設定」 (関連ページ: P. 21)

下記注意事項が追記内容です。

■ BIOS セットアップユーティリティ「Advanced Processor Options」設定項目に関する注意事項

「Intel(R) HT Technology」項目は、搭載するCPUによって表示されない場合があります。

■ SCB BIOS の設定時の注意事項

以下の品名(型名)のPRIMERGY BX920 S2は、出荷時に本節に記載されているBIOSが設定されています。

- 品名: ServerView with Data ONTAP-v™ Software 管理用 VMware vSphere 4 Standard 1CPU ライセンス付
バンドルタイプ (型名: PGX9224AX)
- 品名: ServerView with Data ONTAP-v™ Software 管理用 VMware vSphere 5 Standard 1CPU ライセンス付
バンドルタイプ (型名: PGX9224AX2)

訂正・追記 「3.1.2.1 必要なもの」(関連ページ:P. 24)

太字下線部分が訂正箇所です。

(誤) ● VMware ESX 4.1 ライセンス(**Essential または Standard**)

(正) ● VMware ESX 4.1 ライセンス(**Standard**)

下記注意事項が追記内容です。

■ VMware ESX 4.1 インストール DVD に関する注意事項

本製品は、VMware vSphere 4.1 のみサポートしています。

以下の品名(型名) の PRIMERGY BX920 S2 をご購入のお客様は、VMware vSphere 5 から VMware 4.1 へダウングレードする必要があります。事前に VMware vSphere 4.1 用のライセンスキーおよびソフトウェアを入手してご使用ください。

- 品名: ServerView with Data ONTAP-v™ Software 管理用 VMware vSphere 5 Standard 1CPU ライセンス付バンドルタイプ (型名: PGX9224AX2)

訂正 「3.1.2.2 インストール中に実行される手順」(関連ページ:P. 24)

太字下線部分が訂正箇所です。

(誤) 6. 要求されたら **ESX DVD** を挿入して VMware ESX Server をインストールする

7. **ESX DVD** の取り出し、インストーラの ESX 環境へのリポート

(正) 6. 要求されたら **VMware ESX インストールメディア**を挿入して VMware ESX Server をインストールする

7. **VMware ESX インストールメディア**を取り出し、インストーラの ESX 環境へのリポート

訂正 「3.1.3.2 初回設定のユーザ入力」(関連ページ:P. 26)

太字下線部分が訂正箇所です。

(誤) ServerView with Data ONTAP-v の **pro**DVD に収録されている SVIM は、選択したストレージコントロールブレードにこのソフトウェア製品をインストールするために特別に調整されています。

(正) ServerView with Data ONTAP-v™ の**製品** DVD に収録されている SVIM は、選択したストレージコントロールブレードにこのソフトウェア製品をインストールするために特別に調整されています。

追記 「3.1.3.2 初回設定のユーザ入力」(関連ページ:P. 32)

下記太字部分が追記内容です。

有効なパスワードは、大文字と小文字、数字、およびその他の文字 (% @ / + - , . : ^ _) を組み合わせる必要があります。

追記 「3.1.3.2 初回設定のユーザ入力」(関連ページ:P. 34)

下記注意事項が追記内容です。

■ SVA の Admin Password 設定時の注意事項

— Admin Password で使用できる文字は、以下のとおりです。これ以外の文字は使用しないでください。

- 半角英数字 (A~Z, a~z, 0~9)
- 以下の半角記号
% @ / + - , . : ^ _

— Admin Password に「password」を含む文字列を (大文字、小文字に関わらず) 設定しないでください。

追記 「3.1.3.2 初回設定のユーザ入力」 (関連ページ:P. 35)

下記注意事項が追記内容です。

■ VSA の Root Password 設定時の注意事項

- ー Root Password で使用できる文字は、以下のとおりです。これ以外の文字は使用しないでください。
 - 半角英数字 (A~Z, a~z, 0~9)
 - 以下の半角記号
% @ / + - , . : ^ _
- ー Root Password に「password」を含む文字列を (大文字、小文字に関わらず) 設定しないでください。

訂正 「4.2.1.2 Agent Deployment」 (関連ページ:P. 51)

下記注意事項が追記内容です。

■ Agent Deployment 機能に関する注意事項

本機能は、未サポートです。

訂正 「4.2.1.4 Blade Power Management」 (関連ページ:P. 56)

太字下線部分が訂正箇所です。

- (誤) サーバブレードの iRMC メニューで、電源オプションを「電源管理 (Power Management)」 – 「電源制御オプション (Power Options)」で「電源制御オプション(Always power off)」に設定します。
- (正) サーバブレードの iRMC メニューで、電源オプションを「電源制御 (Power Management)」 – 「電源制御オプション (Power Options)」で「電源復旧時動作設定(Power Restore Policy)」を「電源投入しない(Always power off)」に設定します。

追記 「4.2.2.3 SVA パスワードの変更」 (関連ページ:P. 60)

下記が追記内容です。

■ SVA のパスワードの変更時の注意事項

本節に従い SVA のパスワードを変更した場合、新しく設定したパスワードを/svim/serstartbatch.xml ファイルに反映する必要があります。

以下の手順に従い、変更を反映してください。

1. ESX のサービスコンソールにログインし、root 権限を取得します。
2. /svim/serstartbatch.xml ファイルを編集します。以下の例を参照し、該当箇所に新しいパスワードを反映してください。

例:/svim/serstartbatch.xml ファイル (黄色部 が該当箇所です。)

```
<svappliance>
  <hostname>svahost</hostname>
  <vmname>vm</vmname>
  <mmb_ipaddr>xxx.xxx.xxx.xxx</mmb_ipaddr>
  <users>
    <user><encrypted>>false</encrypted>
      <user_password>xxxxxxx</user_password>
    </user>
  </users>
  <licence1></licence1>
```

追記 「4.2.2.4 SVA ホスト名と IP 設定の変更(関連ページ:P. 61)


下記が追記内容です。

■SVA の情報 (ホスト名・IP アドレス)の変更時の注意事項

本節に従い SVA の情報(ホスト名・IP アドレス)を変更した場合、新しく設定した情報 (ホスト名・IP アドレス)を /svim/serstartbatch.xml ファイルに反映する必要があります。

以下の手順に従い、変更を反映してください。

1. ESX のサービスコンソールにログインし、root 権限を取得します。
2. /svim/serstartbatch.xml ファイルを編集します。以下の例を参照し、変更を加えた情報(ホスト名・IP アドレス)について、新しい情報を該当箇所に反映してください。

例:/svim/serstartbatch.xml ファイル (黄色部  が該当箇所です。)

```
<svappliance>
  <hostname>svahost</hostname>
  <vmname>vm</vmname>
  <mmb_ipaddr>xxx.xxx.xxx.xxx</mmb_ipaddr>
  <users>
    <user><encrypted>>false</encrypted>
      <user_password>xxxxxxx</user_password>
    </user>
  </users>
  <licence1></licence1>
  <onvmfs>storage1</onvmfs>
  <interfaces><interface><device>eth0</device>
    <ipaddr>xxx.xxx.xxx.xxx </ipaddr>
    <netmask> xxx.xxx.xxx.xxx </netmask>
    <gateway> xxx.xxx.xxx.xxx </gateway>
    <nameserver> xxx.xxx.xxx.xxx </nameserver>
  </interface>
  </interfaces>
  <accepted>true</accepted>
</svappliance>
```

追記 「5. 1 SVA が破損した」(関連ページ:P. 80)

下記注意事項が追記内容です。

■ sva_recovery [--OverwriteSVABackup] コマンドご使用前の注意事項

重要: sva_recovery [--OverwriteSVABackup] コマンドを実行すると ServerView Appliance (SVA)上の dvaradmin 設定ファイル (/root/.dvaradmin/vm-properties) が削除されます。

sva_recovery [--OverwriteSVABackup] を実行前に dvaradmin 設定ファイル (/root/.dvaradmin/vm-properties) をバックアップしてください。また、コマンド実行後には、設定ファイルを同じ場所にリストアしてください。

以上